

[OP-SB89シリーズ 仕様比較]

モデル	OP-SB89G	OP-SB89E	OP-SB89
計測ポート	ポートA, B 1CHのLAN通信/PoE計測が可能	ポートA, B, C, D 同時に2CHのLAN通信計測が可能	ポートA, B : 1CHのLAN通信/PoE計測が可能 ポートC : ケーブルテストポート、クラスAの疑似PDポートとして動作
計測インターフェース	10Base-T / 100Base-TX / 1000BASE-T		
フェイルセーフタップ回路※1	ポートA, B間	ポートA, B間とC, D間	ポートA, B間
モニター機能 ※2	LANフレームを測定、記録		LANフレームを測定、記録※3
タイムスタンプ	13桁、最小分解能 : 40ns		13桁、最小分解能 : 1μs
記録フレーム数※4	最大48,000~1,048,000フレーム (最大100Mバイト相当)		最大48,000~1,388,000フレーム (最大100Mバイト相当)
適合フレームサイズ	60~9Kバイト		60~2047バイト
詳細翻訳対象プロトコル	IPv4、ARP、ICMP、TCP、UDP、DHCP	IPv4、ARP、ICMP、TCP、UDP、DHCP、EtherCAT	IPv4、ARP、ICMP、TCP、UDP、DHCP
トリガー	外部入力のレベル一致、特定のフレームの検出、トリガーで測定停止可能		外部入力のレベル一致トリガーで測定停止可能
フィルタ機能	指定した特定フレームのみをモニター可能		
検索機能	指定した特定フレームのみを検索して頭出し、計数可能		
オートセーブ機能	測定データを外部メモリーに通信ログファイルとして自動保存可能		測定データを外部メモリーに通信ログファイルとして自動保存可能 (REPEATモード時のみ)
ユーティリティソフト	pcap形式ファイルへの変換ソフトを提供 対応OS : Windows 7/8/8.1/10		
PG機能	ポートAから任意のパケットをワイヤレートで出力	ポートAまたはBから任意のパケットをワイヤレートで出力	-
	最大16種類のパケットを指定回数または連続で送信可能 パケット毎にフレームギャップを設定可能		
遅延時間測定機能	-	指定のポート間の受信タイミングの時間差をμs単位で測定 (現在、最大、最小、平均の遅延時間を表示)	-
統計解析機能	指定間隔 (0~240分) で2つのフレームカウンタ値の統計をとりグラフ表示、全フレームカウンタ値をリアルタイム表示可能		
PoE計測機能	PoE (IEEE802.3af) / PoE+ (IEEE802.3at) 消費電力、電圧、電流、給電タイプを連続測定、判定、表示 記録間隔 : 1m秒~1秒、最大記録回数 : 400万回 電圧 : 測定範囲0~60V 確度 : ±1% F.S. 電流 : 0~±600mA 確度 : ±2% F.S. テキスト、CSV変換可能	-	PoE (IEEE802.3af) 消費電力、電圧、電流、給電タイプを連続測定、判定、表示 記録間隔 : 1m秒~1秒、最大記録回数 : 400万回 電圧 : 測定範囲0~60V 確度 : ±1% F.S. 電流 : 0~±380mA 確度 : ±2% F.S. テキスト、CSV変換可能
PSE検出機能	-	-	ポートCへのPSE接続を検出してLEDを点灯
ケーブルテスト機能	-	-	ケーブル長、断線/ショート箇所、スプリットペアを測定
PING機能	PINGコマンドを発行して応答状況を表示		
ポート点滅機能	ケーブル接続先のハブのリンクLED を周期的に点滅可能		
構成品	専用拡張ボード、ラインステート表示シート、LANケーブル、ユーティリティCD		

※1 アナライザーの電源がOFFになっても対象機器間の通信に影響を与えません。 ※2 高負荷ネットワークでは記録漏れが発生することがあります。

※3 メモリーフル自動計測停止 (ONLINEモード) と連続記録 (REPEATモード) のどちらかで動作します。 ※4 フレームは付加情報と共に記録されます。